

KONTECHS TIMES

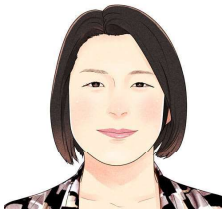
COMPANY NEWSLETTER

株式会社コンテックス



社長の
呟き

植物に残心はあるか？
コロナ対策万全にして
いちご狩り！



ニュースレター限定 社長コラム

『残心とは？』

代表取締役 近藤 千奈美

先日、あるブログを読んでいたところ「残心」という言葉に出会いました。その方は、アメリカのあるドラマシリーズのテーマがこの「残心」なのでとても興味深い、ということをお書きになっていました。

残心

私は、心残り??と思ったのですが、それでは話題にはなりませんね。

ネット上の大辞林で検索したところ、下記の意味だそうです。

- 1) 不満や未練が残ること。未練。
- 2) 武道における心構え。一つの動作が終わってもなお緊張を解かないこと

1) はいわゆる心が残る、という意味でしょうか。

2) 所作の余韻や雰囲気まで気を行きとどかせること。ある種の美学のように感じます。

2) の意味は知りませんでした。

思わず日本の武道・芸術精神ってすごい!と思います。

この話を読み、遠い昔にピアノの発表会で感じていた空気をふと思い出しました。キーを押す前の指の動きや圧力、次の音をキーが押すまでの間合い、ピアノから音が放たれた後の音の広がりや減衰・・・といったような空気感も全体として音楽そのもの。

聞いている側も息をひそめながら、楽しんでいる（我慢している?!）

緊張感。

「〇〇道」というものと仕事は違うよね。と思う一方で、そうした考え方を仕事に当てはめることで、濃密で集中した仕事時間を意識し、さらに精度の高い成果が作り出せるように思うのです。

自分の仕事に残心を持ち込めるかな?意識しながらやってみようと思います。

教えて！

翻訳Q&A！



Q: 1942年のアメリカ映画『カサブランカ (Casablanca)』の劇中で主人公のハンフリー・ボガード (Humphrey Bogart) がヒロインのイングリッド・バーグマン (Ingrid Bergman) に言う「君の瞳に乾杯」という台詞ですが映画を見ている時はかなりいけてる訳だと思いましたが、オリジナルの英語の台詞“Here's looking at you, kid.”からどうしてこの訳が出てくるのか分かりません。これってかなりの意識なんですか？

A: “Here's looking at you, kid.”

この中で中学で習わない単語は何一つありませんが、直観的に意味がまったくわからない、なかなか難しい口語ですね。

まず、“Here's ~”は乾杯をする時に使われる言葉です。

“Here's to our friendship!” 「私たちの友情に乾杯」

“Here's to you!” 「あなたに乾杯」

“Here's luck.” 「幸運を祈って乾杯」などと使います。

“Here's looking at you.”も乾杯の時に使われる言葉で、元々は「(神様が) あなたを見ていますよ」という意味です。

また、文末の“kid”は年上の男性が、年下の女性などに親しみをこめて呼びかける際に使われます。映画では字幕の長さの制約もあるでしょうが、訳していません。

「君を見つめて乾杯」といった感じでしょうか。

こう見ていくと「君の瞳に乾杯」という字幕翻訳は、やはりかなりの名訳と言えると思います。

“Here's looking at you.”以外の成句で「乾杯」を表すものには

“Here's mud in your eye.”があります。

これは、聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。

HP にバックナンバーが掲載されています♪

『春が来た』



技術者の呟き

エンジニアリング事業部・社

春って、どんな季節ですか？

人それぞれだと思っていますが、私にとって、春は出会いの季節であり、新しい始まりの季節でもあり、そして、灰色の暗い冬を抜けて、きれいな花が咲き万物が蘇って待ちに待った季節です。

今年も旧正月を迎えながら、春が訪れてきました。

同時に迎えてきたのは、季節の変わり目に伴い、

私の鼻炎です。(苦笑い)

コロナの影響であまり出かけることができませんが、

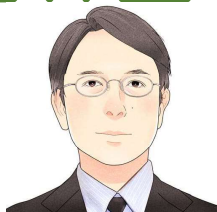
娘に春の童謡を教えたり、家の近くの公園に散歩したり、

春という季節を感じさせてあげて、それから、

一緒にこの希望に満ちた季節にコロナも早く終息できるようにお祈りします。



花が咲く。川にも



ニュースレター限定

営業マンのコラム『風の時代？』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



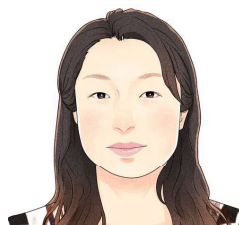
春が開花と鼻のムズムズを連れて近づいてまいりました。2020年はコロナ一色で、あらゆる面で暗くなってしまう年になりましたが、先日何かのSNSで「風の時代」に入ったという記事を目にしました。「地の時代」から百何十年ぶりに変わったそうです。物事の価値観が変わり、世の中が変わるとか。ますます昭和は遠くなりにはけるようですが、新しい時代に是非期待したいものです。いろいろな噂やデマがはびこるSNSの世界ですが、その記事を信じる

とか信じないとかよりも、大切なのは自分がどうしたいか？ということだと思います。占いと一緒に、よいところだけ信じて、そうなるように努めることで、やがて希望は叶うと。さて、私の希望は？・・・毎日楽しく吞んで唄って、時々ふらりと旅をする？・・・うーむ・・・この脳天気では全く現実味がなさそうですね。(笑) それでも祈りましょう！良い風が吹きますように！今年はずっと普通にライブがやれますように！（結局そこか！笑）

ホームページの **お客様はインターネットの中に!**
英語版作成 と リニューアル
 補助金や助成金が活用できます! コンテックスへご相談下さい!

社員の呟き

コンテンツサービス事業部 堀田



春は1年で一番動きのあるシーズンですね、卒業・入学・新社会人などさまざまな人生の通過点があり、入学試験や資格試験などの勉強をなさっている方も多くいらっしゃるかと思います。

受験で『桜』といえば、合格を意味する「サクラサク」のイメージが強いのではないのでしょうか。

このルーツは、今から半世紀以上も前の1956年(昭和31年)に早稲田大学が始めた電報による合格通知にあるそうです。

その電報文体で大学入試の結果を知らせる文章として、早稲田大学が導入したのが「サクラサク」、なお、残念ながら不合格だった場合は「サクラチル」と送られていたようです。

我が家にも受験生がいて、先日めでたく「サクラサク」を頂くことができました!

毎年楽しみにしている桜シーズン、今年は特別な思いで迎えることになりそうです。

コンテックス HP

下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索!



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

株式会社コンテックス

Phone : 042-744-1080

e-mail : tsd@kontecs.com

URL : <http://www.kontecs.com>